



校長通信

No.24 令和3年3月16日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《球技大会、大盛況でした！》

1年生の球技大会を3月12日（金）、2年生の球技大会を15日（月）に実施しました。種目は1年生男子がミニサッカー、女子がバスケットボール、2年生男子がハンドボール、女子がミニサッカーでした。



1年生球技大会の12日は、お天気が下り坂で、延期の危機もありましたが、なんとか雨も降らず、無事実施できました。15日は、好天に恵まれ、心地よい青空のもと、2年生の大会を実施することができました。

1・2年生とも、みんな一生懸命、プレーしたり、クラスメートを応援したりしていました。特に、2年生男子のハンドボールは、どのチームもフォーメーションを工夫し、声を掛け合いながら、パスを回したり、時にはフェイントを見せたりと、高度な技を披露していました。学級のチームワークが更に高まるとともに、日頃の体育の授業の成果が出た、すばらしい大会となりました。

《第3回学校運営協議会を実施しました》

3月3日（水）第3回学校運営協議会を実施しました。第1回協議会で、今年度の学校運営方針をご理解・承認していただき、第2回協議会で、今年度の進捗状況を確認していただき、今回の第3回協議会で、今年度の学校の取組を評価していただきました。

評価の柱は、学力の向上、豊かな心の育成、健やかな体の育成、地域とともにある学校の4点です。昨年末に実施した学校アンケートの結果を示しながら、評価をしてもらいました。学校の取組に対して、概ね肯定的な評価をいただくとともに、来年度、更に取組を充実させるよう激励いただきました。

《オンラインの便利さを実感》

先日、小・中・高等学校及び大学の教員が参加する研究会で、発表する機会をいただきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインによる研究会となりました。直接、聴衆に話しかけることができると、聴衆の表情や反応を見ながら発表できるのですが、オンラインだと参加者の反応がわかりにくく、話づらいく所が多々ありました。



しかしながら、北は北海道から、南は鹿児島からの参加者があり、しかも、北海道の参加者は、私の大学時代の同級生（剣道部の同期）、鹿児島からの参加者は、大学院時代の同級生（英語の指導法について、共に研究した仲間）でした。発表後、広島の中学校の先生から質問を受けたりと、和歌山にしながら全国各地の方々とコミュニケーションができるオンライン会議の便利さを実感しました。